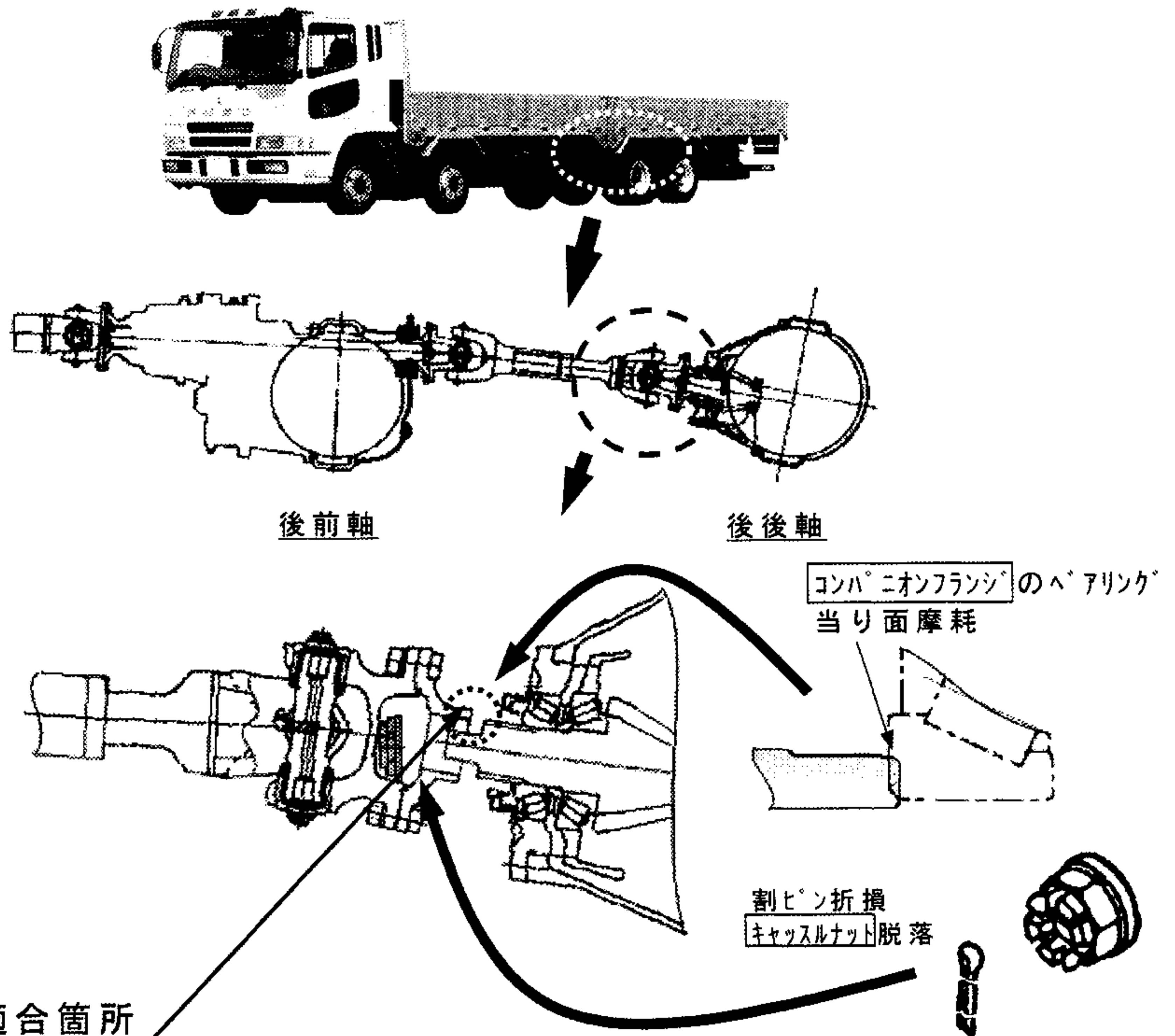
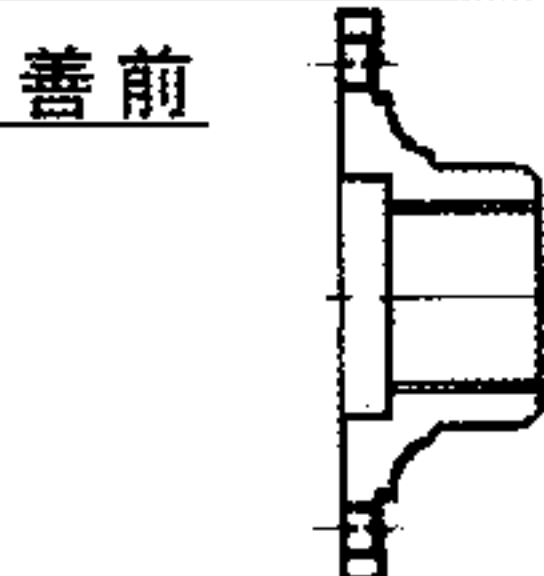
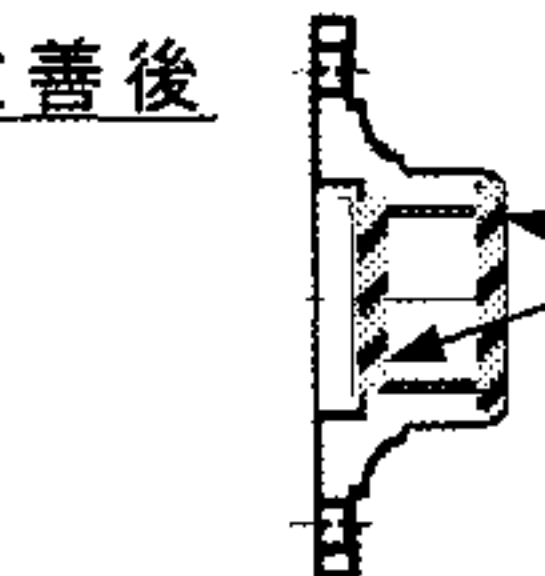


改善箇所説明図



低床式後2軸駆動車の動力伝達装置において、後前軸と後後軸間の推進軸の接手の締付けが不適切なため、後後軸の終減速機との取付部（コンパニオンフランジ）が摩耗し、当該フランジを締付けているキャスルナットがゆるみ、そのままの状態で使用をつづけると、キャスルナットの回り止めの割ピンが折損して当該ナットが脱落、コンパニオンフランジが抜け出し、最悪の場合、当該推進軸が脱落して走行不能となるおそれがある。

注：□ は、交換部品を示す。

改善措置の内容	全車両コンパニオンフランジ及びキャスルナットを対策品に交換する。	
改善前  コンパニオンフランジ 当り面焼入れなし キャスルナット ・ナットフランジ 厚さ 4mm ・硬度 6T ・ドライ締付 (200～350N・m) 4mm		改善後  コンパニオンフランジ ナット側及びベアリング側当り面に高周波焼入追加 キャスルナット ・ナットフランジ 厚さ増大 10mm ・硬度アップ 10T ・ナットネジ面に摩擦係数安定剤塗布追加及び締付トルクアップ (300～450N・m) 10mm

識別：作業完了車には、後前軸及び後後軸側のコンパニオンフランジ（エンドヨーク）側面に白色ペンキを塗付する。